

第4章 基本方針

第1節 基本理念

本計画は、保存活用計画において示した保存・活用と整備の方針に基づき、史跡の本質的価値を将来に向けて継承していくために、今後実施する整備事業の根幹となる基本理念を以下のとおり定める。

育む

史跡大塚山古墳群は、先人達が大切に護り遺してきた地域の“誇り”であり“財産”である。市街化の進む河合町にあって、この財産を後世に確実に継承していくことが現代を生きる我々の責務である。文化財の保護は地域住民の理解と協力なくして成り立たない。そして史跡の整備を協働することを通して地域のアイデンティティの醸成を図る。

学ぶ

大王墓級の大型前方後円墳の上に立つことができるという、他では得ることのできない全国的にも貴重な体験は、きっと新たな発見と学びに出会えるはずである。また、都市化の進む河合町において大塚山古墳をはじめとした各古墳の緑は、心に安らぎを与えるオアシスでもある。身近に自然を感じながら、地域の歴史や文化を体感できる場をみんなで創造する。このまちに生まれた人も、新しく住む人も、すべての人にとって「学び」と「発見」につながる整備を目指す。

第2節 基本方針

前章で整理した課題の解決に向け、史跡の本質的価値の保存と顕在化、そして活用と運営・体制の在り方など、今後進める整備の基本的な方針を下記のとおりまとめる。

(1) 史跡の確実な保存

史跡指定地の公有化の推進と遺構の広がり確認されている隣接地の追加指定、史跡指定地の明確化のための境界標及び標識の設置、変状している墳丘等の復元と排水設備の整備など、史跡を確実に保存し、後世に継承するための整備を目指す。

(2) 壮大なスケールの古墳を体感

200m級の大型前方後円墳の壮大なスケールを直接体感できる整備を目指す。陵墓指定を受けていない大王墓級の古墳を自由に見学できるという体験には、その場でなければ得られない、新たな「発見」と「学び」が必ずある。古代の人たちの想いを訪れた人に感じてもらえる、そんな機会の提供を目指す。

(3) 自然環境を活かした憩いの空間

大塚山古墳をはじめとした古墳の森は、市街化の進む河合町において日常生活に潤いと安らぎを与えてくれる貴重な緑地である。この豊かな自然環境を、だれもが気軽にそして安全に訪れられるよう整備する。歴史ファンだけでなく樹木や動物などの自然観察や散策をする方々にも楽しんでもらえるオープンスペースを目指す。

(4) 来園者の利便向上

史跡大塚山古墳群の見学に必要な案内・解説施設の充実を図る。点在する各古墳を安全に効率よく見学できるよう動線計画を作成し、それを基に各種サインの設置を進める。また、駐車場やトイレ等の便益施設を整備する。来訪者に史跡の価値を正しく理解してもらうために重要なガイダンス施設についても効率的な設置方法について検討を行う。

(5) 住民参加による管理運営体制づくり

史跡の管理運営は、管理団体である河合町が担うものであるが、地域に根差した史跡を目指す観点から、積極的な住民参加を促していく。広大な敷地面積を持つ大塚山古墳をはじめ、史跡指定地の公有化を進めていることより、その管理すべき範囲は益々増加していく。管理だけでなく活用においても、地域住民との連携による協働がなければ文化財保護は成り立たない。住民参加による管理運営体制の構築を進める。